

# JPDA 7月定例理事会議事録

日 時：平成29年7月12日（水）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター（区民会議室） 5階 会議室A

出席者：理事24名中21名（加藤芳夫、伊藤 透、青木（入江）あずさ、井上 聡、

牛島志津子、畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、

加藤（桑）和美、佐野暁子（文胡）、竹内清高、中越 出、永島 学、

永田麻美、中森恭平、藤田 隆、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）

監事2名中1名（時田秀久）

欠席届：4名（池田 毅、加藤憲司、小原 司、信藤洋二）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者22名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、時田秀久監事の3氏であることを確認し、議事に入る。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

## 第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに、法人1社、個人4人から入会申込みがあり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人1社、個人4人の入会を承認した。

### (1) 法人会員（1社）

<東日本>

株式会社 a u n（推薦者＝時田秀久）

### (2) 個人会員（4人）

<海外>

松村 聡（さとし）（推薦者＝時田秀久）

<東日本>

青木 真由美（推薦者＝森 孝幹）

永沼 真一郎（推薦者＝伊藤 透）※

※5月理事会で法人会員として入会が承認された「桑沢学園専門学校 桑沢デザイ

ン研究所」は、個人会員として入会したいとの要請があり、永沼氏が個人会員として入会することとなった。

<西日本>

後藤 千寿（ちひろ）（推薦者＝時田秀久）

## 第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員1社、個人会員4人の退会を承認した。

(1) 法人会員（1社）

三笠産業株式会社 [9月末退会]

(2) 個人会員（4人）

<東日本>

古賀 彩[6月末退会]

片平 直人[6月末退会]

<中日本>

前田 一樹[6月末退会]

岩本 禎雄[9月末退会]

## 第3号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに依頼のあった下記2件の協会名義使用を承認した。

(1) 後援名義使用の依頼（1件）

・第19回「福岡デザインアワード」（主催：福岡県産業デザイン協議会）

<募集：6/28～8/10 公開審査：11/7 表彰式：11/8>

(2) 協賛名義使用の依頼（1件）

・「JAPAN PACK 2017」（主催：一般社団法人日本包装機械工業会）

<東京ビッグサイト：10月3日～6日>

## 第4号議案 正副理事長報告

加藤理事長、伊藤副理事長より現状の活動状況についての以下の報告があった。

加藤理事長報告

- ・6/1 JPDAデザイン権利保護知財セミナー・終了後の親睦会に出席
- ・6/2 公益社団法人日本インテリアデザイナー協会総会後の交流会に渡邊事務局長が代理出席
- ・6/6 出版委員会（年鑑出版）
- ・6/8 東日本委員会アメリカのパッケージデザイン教育セミナー・終了後のシンシナティ大学との交流会に参加

- ・ 6/15 2017日本パッケージングコンテスト(主催：日本包装技術協会) 審査会に信藤理事が代理出席
- ・ 6/21 日本プロモーションマーケティング協会 講演会に渡邊事務局長が代理出席
- ・ 6/23 公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA) の総会、JAGDA賞授賞式、交流会に出席  
⇒「JAGDAの総会は上野の科学博物館で200名余の出席者を迎えて行われたが、JPDAとは異なり、パワーポイントを使ったグラフィカルな構成で、終了後、東京芸大に場所を移しての交流会も盛大であった」とのコメントあり。
- ・ 6/27 一般社団法人日本空間デザイン協会のセミナー、パーティに出席 (渡邊事務局長同行)
- ・ 7/8 蔦屋 (代官山店) での日本のパッケージデザイン2017出版記念トークショーに出演
- ・ 8/1 D-8運営会議に出席 (伊藤副理事長、渡邊事務局長同行) 予定
- ・ 8/22 「おいしい東北パッケージデザイン展」の委員会に出席予定
- 伊藤副理事長報告 ・ 6/3 公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会総会後のシンポジウム・交流会に出席 (乾杯挨拶)
- ・ 6/8 東日本委員会アメリカのパッケージデザイン教育セミナー・終了後のシンシナティ大学との交流会に参加
- ・ 7/1 ASPaCコンペティション 予備審査に審査員として出席

## 第5号議案 委員会報告

### <決済事項>

#### ○総務 (事務局より報告)

- ・ 渡邊事務局長から、5月30日に行われた第36回総会後の記念講演会 (公益会計)、総会懇親会 (法人会計) の収支決算報告があり、  
130名の出席者があった記念講演会 (公益会計) は、収入合計0、協会補助310,000円、支出合計309,436円、収支差額+564円を、  
また、招待者10名を含み106名の出席者があった総会懇親会 (法人会計) は、収入合計480,000円、協会補助0円、支出合計470,886円、収支差額+9,114円を承認した。

#### ○東日本 (セミナー)

- ・ 伊藤副理事長から、セミナー「アメリカのパッケージデザイン教育の今」についての報告と収支計算報告 (公益会計) があり、収入合計96,000円、支出合計79,370円、収支差

額+16,630円を承認した。

開催日時：平成29年6月8日（木）

開催場所：The Galley Too （株）Too本社3階

出席者数：学生22名、会員45名、非会員2名 計69名

千葉大学とのパッケージデザイン共同ワークショップのために来日された、アメリカンシンシナティー大学プロダクトデザイン科准教授ピーター・チェンバレン先生とトッド・ティムニー先生を講師に招いて、シンシナティー大学でのパッケージデザインプログラムについてのお話を伺った。

セミナーはチェンバレン先生の流暢な日本語で行われ、プロダクトデザイン科とグラフィックデザイン科のコラボレーションによる領域横断型のプログラムと、You Tube動画からヒントを得た、パッケージデザインのための発想・評価メソッドについての紹介があった。

終了後はシンシナティー、千葉両大学の学生も交えた懇親会が行われ、年齢・国を越えての交流は参加者全員にとって有意義なものであった。

セミナーの内容は今後のアーカイブとしての活用を考え録画を行った。

加藤理事長から、これからも機会があればこのようなイベントを考えていきたいとのコメントがあった。

#### <宿題事項の経過報告>

##### ○教育

- ・永田理事から、前回の理事会の宿題事項である。「スマイルズ様とワークショップ参加者との間の覚書」についての経過報告があった。

この件に関しては、7月5日に（株）プラグの会議室において加藤理事長、時田監事、デザイン保護委員会の丸山委員長、小川理事、教育委員会のメンバーとが打ち合わせをもち、スマイルズに対して小川理事から出された修正案を投げかけて再検討していただくこととなった。先方とは7月21日に打ち合わせを持つことになっており、修正案を了解していただければ、8月に、すでに選ばれている参加者とあらためて打ち合わせを持って、12月のイベントとして実現できるように進める予定。

##### ○国内交流（2018年のデザイン会議についてのディスカッション）

- ・加藤理事長より、今後のデザイン会議の考え方についての説明があった。その趣旨は以下のとおり。

① JPDAデザイン会議は創造性を生かした面白い（魅力的な）、価値のある会議であるべきであり、公益活動として今後も実施する意義はあると考える。その前身である全国会議についてはフミ・ササダ前理事長のときに会員を増やす目的でいろいろな地方で開催したが、受け入れ地域の負担が大きかった上、残念ながら会員の大きな増加には

結びつかなかった。

- ② 実施に向けては、国内交流委員会、理事会などで、その基本的な意義・目的を確認した上で、JPDA全体の活動の中で全体最適を目指すものとしていきたい。また、会員の少ない中日本やその他地方での開催は、実施に際して会員に大きな負担となり、サポート費用もかなりなものになる懸念があるので、基本的に東日本、西日本地域での開催とし、その他の地域は今年の四万十のような立候補を促す形で進めていきたい。
  - ③ 創立60周年となる2020年には、APDの東京開催を考えているので、2019年はその準備の年と位置づけデザイン会議の開催はしない。また、2018年は総会と同時期に東京での開催を考えてはどうか。今この同時開催にはこだわりたいと思っている。
  - ④ 後で議論するアスパック事業の活性化も課題となっているため、各委員会のパワーをバランスよく発揮していただきたい。
- ・これに対し役員間で活発な議論があったが、全体として今後もデザイン会議を実施していくことは了解。また、総会とデザイン会議を同時期開催することも含めて、別途国内交流委員会の意見も入れた上で2018年の方向性を決めていくこととなった

#### ○アスパック

- ・前回理事会でのアスパックに関する議論の中で、「JPDAの理事・会員から見て、アスパックとJPDAの関係、及び、アスパックの活動内容、経費予算がよくわからない」という指摘があったが、それを受けて持たれたアスパック協会（フミ・ササダ会長、加藤事務局長）とJPDA（加藤理事長、伊藤副理事長、渡邊事務局長）との打ち合わせの内容について、渡邊事務局長より書面による報告があった。
- ① アスパックとしては現在のアスパックの国内事業全般において、JPDAの全面的な協力をお願いしたい。についてはそれぞれの活動についてチームを結成するとともに、必要と見込まれる経費を予算としてお渡しし、企画から実際の運営にいたるまでをお任せしたい。また、JPDAサイドの各チームメンバーの選定もお願いしたい。  
(フミ・ササダ会長)
  - ② JPDAは以前の理事会でアスパック事業を積極的に進めていくという賛同を満場一致で得ており、今後の協力は惜しまないが、両者間のきちんとした情報の共有化と、印刷物におけるJPDAのグラフィック面での見え方の改善をお願いしたい。  
チーム毎のメンバーの選定は了解した。(加藤理事長)
  - ③ 今日の理事会で役員の詳細を得た上で、チームメンバーを選定し、アスパック・JPDA両協会幹部の合同会議をもつこととするとともに、国内審査の上位入賞者にJPDA大賞の学生部門賞を与えることも検討していく。
- ・加藤理事長から各活動の中心メンバー（案）について案内があり、それぞれの活動内容がいままでのサポートから主体となつてのものとなることから、いままでの仕事の整理

が必要になること、また、過去の経緯を一番知っている森理事の全面的なサポートをお願いしたいというコメントがあった。

① 国内WS・国内一次予選・決勝審査会

⇒伊藤副理事長、藤田理事、江藤理事（コンペティションor東日本委員会のヘルプが必要になると思われる）

② 広報・制作

⇒Web広報：山口会員（NIC）、制作：牛島理事

③ フォーラム・表彰式・レセプション

⇒加藤（桑）理事、国内交流委員会が協力

④ 学生研修・交流

⇒法人研修：教育委員会（永田理事）or調査研究委員会（加藤理事、加藤（桑）理事）

⑤ 国内展覧会

⇒真野会員、渡辺会員（お二人はすでにこの事業を担当している）、展覧会委員会（小川理事、牛島理事）

・これについては各役員から多くの意見があったが、結論として、

① J P D Aとしては、過去のいきさつがいろいろあるのは事実だが、予算も含めた既存の事業の見直しを行いながら、アスパック協会から要請のあった事業については J P D Aの事業と考えて前向きに検討を進めていただきたい。

とくに今年度は多方面で森理事の全面的な協力が必要になってくると考えている。

② 指名されたチームメンバーはそれぞれの委員会の意見も入れて、どこまで関われるかを検討する。（とくに加藤（桑）理事、井上理事からの指摘）

③ J P D A会員に対して、アスパック事業に協力することのメリットをわかりやすく発信していく。（時田監事、井上理事からの指摘）

こととなった。

<報告事項>

（デザイン保護）

・小川理事より、6月に開催した「侵害事例から知財を学ぶ」セミナーについての事業活動報告があった。

開催日時：平成29年6月1日（木）

開催場所：D I C株式会社 本社2階 大会議室

講師：松井宏記弁理士（レクシア特許法律事務所 代表パートナー）

出席者数：84名（会員57名、非会員17名、デザイン保護委員9名、関係者1名）

・また、あわせて「HP委員会レポート公開」について、「(株)スマイルズ様との契約書」についての報告もあった。

(広報委員会)

- ・永島理事より、8月に発行予定の「PACKAGE DESIGN 26号」について、面・裏表紙を除いた全44ページの構成に関する説明があった。
- ・今回の「気になる会社インタビュー」は、当初の予定を変更して、長谷川松寿堂様を掲載したとのこと。

(中日本委員会 (北陸))

- ・畝野理事より、9月実施予定の「Talk café 2017」について、概略の説明があった。  
開催日時：平成29年9月30日 (土)  
開催場所：富山市民プラザ 2階 ふれんどう  
パネリスト：戸田祐希利 (デザイナー)

(アーカイブ委員会)

- ・青木 (入江) 理事より、以下3点についての報告があった
  - ① 研究記録活動 (インターネット委員会との打ち合わせ、サイト用のリスト作成作業、声のアーカイブの進捗状況)
  - ② D-8 JDM活動 (D-8ジャパン・デザインミュージアム設立研究委員会)
  - ③ JPDAパッケージデザイン資料館開設
- ・とくに③については別紙で「アーツ千代田3331」を第1候補としたい提案があり、今後総務委員会・事務局と情報を共有化しながら検討を進めることとなった。

(国際交流)

- ・森理事より、2017年10月28日 (土) ~10月31日 (火) に台湾 (台北) で開催予定のAPD (アジアパッケージデザイン会議) について、詳細の報告があった。

(アスパック)

- ・森理事より、以下5件についての資料による報告があった。
  - ① 国内ワークショップ
  - ② 国内予選審査
  - ③ 海外巡回展
  - ④ 海外の動き
  - ⑤ WEB関連の活動

(インターネット委員会)

- ・佐野理事より、7月11日 (火) に開催した広報勉強会について口頭での報告があった。

(出版委員会)

- ・山崎理事より、6月15日~7月17日まで開催されているパッケージデザイン大賞巡回展の一環として7月8日 (土) に行われた「トークショー」(パネラー3名：大賞受賞者の東海林小百合氏、菊池敦己氏、年鑑のアートディレクター高田唯氏 モデレーター：JPDA

加藤理事長) に関して会場の写真を使つての報告があつた。

(西日本)

- ・梅原理事より、11月10日(金)～11日(土)開催予定の「しまんとデザイン会議」の応募状況について口頭での報告があつた。7月12日現在、参加申込者は総数118名(内会員104名、非会員14名)、その他(事務局+カメラマン)4名となつており、申込みは7月11日に締め切つたとのこと。

(調査研究)

- ・加藤(桑)理事より、9月14日あるいは27日に法人対象のセミナーを開催予定との報告があつた。

#### 第6号議案 事務局報告

- ・渡邊事務局長より以下4件の報告があつた。
  - ① 会員異動状況について：それぞれの最多年度は、個人会員が1997年、法人会員が2016総会員数では1997年であつたこと。
  - ② たばこ産業の現状について：オーストラリアから始まつた「たばこの健康への害をパッケージで表現する国」が増えてきており、パッケージデザインにおけるブランドイメージが著しく影響を受けていること、今後食品、酒類への波及が懸念されること等。
  - ③ 広報誌への広告掲載申込みについて：現在10社の申込みがあるが、あと数社ほしいこと。
  - ④ 2017年日本パッケージングコンテストの審査結果について(先方からの審査協力についての礼状、結果報告書を添付)

#### 第7号議案 次回理事会開催の件

日時：平成29年9月13日(水) 午後1時30分から5時

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前